

ポイント20 子供の問いを尊重しましょう

親子の会話を楽しもう

“学問”という言葉が“質問”の“問”という漢字によって作られているように、質問は学問の重大な要件です。多くの物事に対して疑問を抱き、これを追求する気持が強いことにより、深い学識を身に着けることが出来るのだと思います。

子供の強い疑問に対して親がいつも冷淡でいますと、子供は「疑問を解決することの喜び 知ることの喜び」をいつも味わうことなく終わりますから、自然と「疑問を持つとしない子供」になってしまいます。

昔から「問うは一時の恥、知らぬは一生の恥」と言われていて、質問することには恥ずかしさが伴うものとされています。事実、私たち大人は、疑問があって、それを知りたいと思いながら、恥ずかしさのためなかなか人に尋ねることをしません。

ところが、幼児は、質問することを少しも恥ずかしいことと思いません。だからこそ幼児は目を輝かせて質問をするのです。それ故

に、幼児の質問を大いに歓迎し、喜んで答えるならば、ただ知識が豊かになるだけでなく、いつまでも質問することを恥ずかしく思わない人間になれるのではないかと思います。

このような幼児期の親子の語らいほど、いついつまでも、思い出して心温まるものはないでしょう。こういう思い出を胸に持つ親子は生涯きっと幸福だろうと思います。

コラム

部首 虫

まむしの象形。

【蟻】 正義の意味の義と虫との会意形声字。“秩序整然たる団体生活を営む虫”“あり”を表す。

【虹】 虫は地中、地上のみならず空中にもいる。そして大きいものから小さいものまで多数いる。空中の虫が工作をしたように見えることから、「虫」と「工」で虹を表している。